



「いのち」を大切にしたい 公共交通機関を担う自覚と責任ある行動を実践し、 すべての人に信頼される 「安全第一」のJR東日本をつくりだす申し入れ

申し入れ項目

7月4日 申し入れ提出!

1. JR東日本のトッププライオリティーである「安全」が崩壊する危機に瀕している職場現実を正しく認識し、繰り返し発生している事故事象に向き合い、要因抽出に基づいた原因の特定とすべての要因に対して対策を講じ、JR東日本の安全文化と現場第一の企業風土を創造すること。
2. 組合差別やハラスメント行為などの社会常識に反する経営姿勢を是正し、“ヒト”を大切にするなどのCSR（企業の社会的責任）に積極的に取り組むこと。
3. 日本国憲法第28条ならびに労働組合法第7条を遵守するとともに、団体交渉の未開催状況等に対しては直ちに是正を図ること。また、交渉時に労使合意を図った事項については速やかに議事録確認として整理し締結調印を行うこと。
4. 「統括センター」「営業統括センター」に伴う在籍者に対しては、安全・安定輸送を確保しつつ働きやすさの向上を図るために、役割分担および指揮命令系統ならびに主たる勤務箇所を明確にした基本業務を担える環境の整備を行うこと。また、ロッカーについては、共用使用とせず各社員個人に対して便宜供与すること。
5. 2022年3月12日ダイヤ改正での日光線新型車両投入およびご利用状況に踏まえたダイヤ設定に対しては、地域社会および利用者からの声に耳を傾け「利用者の利便性」の向上を図り、地域の足としての公共交通の役割を担えるよう対策を講じること。
6. 鉄道事業者としての現場力の向上を図り、安全な輸送サービスを実現するために、駅→車掌→運転士といったライフサイクル制度を採用し、経験を積み上げていく人事要員体制を再構築すること。
7. 乗務員の業務等の見直しに合わせて実施した労働時間の算出見直しにおける業務内容に対しての準備時間等における「必要な時間」の定めを具体的に明らかにすること。
8. 作業計画システム(Maple)の新システム導入にあたっては、現場の声を把握し、必要な改修を行ったうえで使用開始とすること。なお、施策実施の際には、立案→試行→検証→改善→再試行→再検証→本実施といったPDCAサイクルを回して施策を進めていく体制を構築すること。



大会討議に基づく全組合員の声!
労使対等・信義誠実な
団体交渉の開催を求めよう!

